今日の新聞　2017（平成29年）9月21日（木）長崎新聞

生徒参加型で薬物防止教室

長崎西高で　薬剤師らと意見交換

県教委 初の取り組み

薬物乱用防止教室で意見を述べる生徒＝長崎市、県立長崎西高

長崎市竹の久保町の県立長崎西高（尾崎健次校長、839人）で19日、全校生徒対象の薬物乱用防止教室があり、薬物捜査に当たる警察官や薬剤師との意見交換を通して薬物の危険性を学んだ。

今年3月、同市内の高校生の大麻所持が発覚。県教委は、講義を聴くだけの「受け身型」では「生徒に響かない」と別の手法を検討。19日は、生徒も意見や質問を述べて参加する方式に県内で初めて取り組み、中学校や高校の教員ら約40人も見学した。

警察官や薬剤師が薬物の基礎知識を説明。その後、生徒から「薬物で脳が受けるダメージは治るのか」「先輩や友人に勧められたら、どうすべきか」などの質問が上がり、生徒同士で薬物を断る方法について話し合う場面もあった。

2年の田口晃成さん（17）は「友達と話し合い、自分が薬物を勧められたらどうするか考えるいい機会になった」と話した。

（三代直矢）